



山ト協適第80号  
平成29年9月11日

会員各位

(公社) 山形県トラック協会  
会長 加川操



### 交通事故の防止について

平素は、当協会の業務運営に種々のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、先日（9月6日）西置賜郡白鷹町大字滝野地内 国道348号上で準中型貨物自動車と大型バスが正面衝突し、準中型貨物自動車の運転手が死亡する交通事故が発生しました。

この件に関して、別添のとおり山形県警察本部交通部交通企画課長から交通事故の防止について依頼がありました。

つきましては、別添依頼文書の内容について貴事業所の皆様に御周知いただくようお願い申し上げます。

(担当)  
適正化事業部部長 高橋  
電話 023-624-1989

交企第185号  
平成29年9月8日

公益社団法人山形県トラック協会  
会長 加川 操一 殿

山形県警察本部交通部  
交通企画課長



### 交通事故の防止について（依頼）

新涼の候、貴職におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より交通事故防止活動を始め、警察業務の各般に渡りまして、格別のご配慮を賜り感謝申し上げます。

さて、県内の交通事故発生状況（9月7日現在）につきましては、事故総数は前年同期より減少しているものの、死者数は大幅に増加しており、例年、交通死亡事故が多発する秋口を迎、大変憂慮される状況となっております。

その様な中で、本年9月6日に、西置賜郡白鷹町内の国道348号白鷹トンネルにおいて、業務中の準中型貨物自動車（青ナンバーの保冷車）が対向車線にはみ出し、対向の大型バスと正面衝突するという交通死亡事故が発生しました。

この事故は、宮城県内から長井市内に荷物を搬送中に起きた事故で、事故原因については捜査中ですが、湿潤路面の左カーブという現場状況やスタッドレスタイヤを装着していた保冷車の状況などから、保冷車がスリップして対向車線にはみ出したものと思われます。

スタッドレスタイヤは、湿潤路面においてはハイドロプレーニング現象が起きやすく、夏タイヤよりも止まりにくいという性質があり、今回の事故では、路面状況等に応じた安全な速度で走行していれば防げた事故であったと思われます。

つきましては、本件交通事故を踏まえ、貴協会加盟事業所に対する、車両管理と業務中における交通事故防止について、あらためてご指導をよろしくお願い申し上げます。

また翌日の9月7日には、最上郡鮭川村において通勤途中の18歳男性が亡くなる単独事故が発生しております。これからとの時期は夕暮れが早まり、薄暮時間帯の歩行者被害の重大事故が多発するとともに、退社時間が薄暮時間帯と重なることから、従業員の方々の出勤・退社時の交通事故防止についてもご指導いただきますようよろしくお願い申し上げます。

（担当）

山形県警察本部交通部交通企画課  
交通安全教育担当 五十嵐  
Tel: 023-626-0110 (内線: 5033)